

令和3年度 岐阜市生物多様性シンポジウム

「ミツバチが育む生物多様性」

アンケート集計結果

1. このシンポジウムをどこでお知りになりましたか。

チラシを見て	52%
広報ぎふを見て	12%
ホームページ	4%
その他	32%

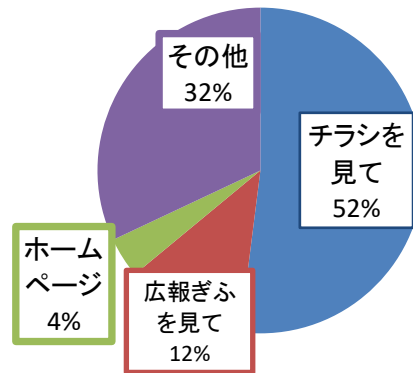
(25人から回答)

「その他」の内訳

関係者からの紹介

家族や知人、先生からの紹介

会社の案内



2. 本日はどちらからいらっしゃいましたか。

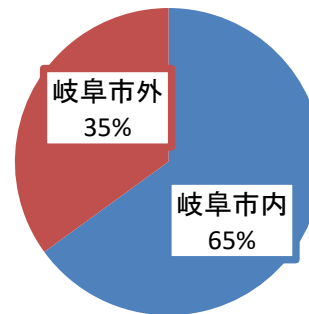
岐阜市内	65%
岐阜市外	35%

(26人から回答)

「岐阜市外」の内訳

愛知県（稲沢市）

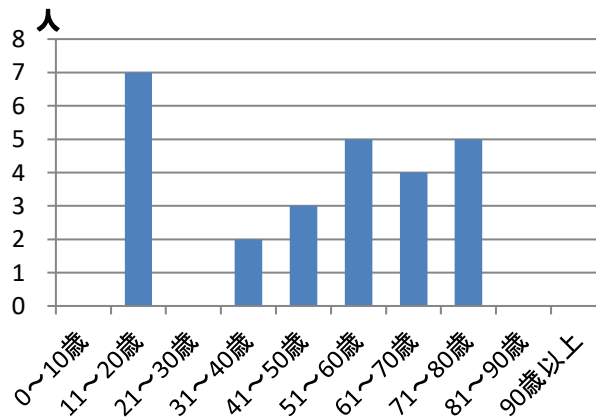
岐阜県内（山県市、各務原市、瑞穂市、輪之内町、恵那市）



3. ご年齢

0～10歳	0
11～20歳	7
21～30歳	0
31～40歳	2
41～50歳	3
51～60歳	5
61～70歳	4
71～80歳	5
81～90歳	0
90歳以上	0

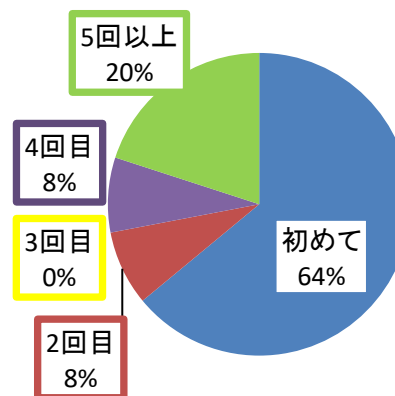
(26人から回答)



4. 参加回数

初めて	64%
2回目	8%
3回目	0%
4回目	8%
5回以上	20%

(25人から回答)

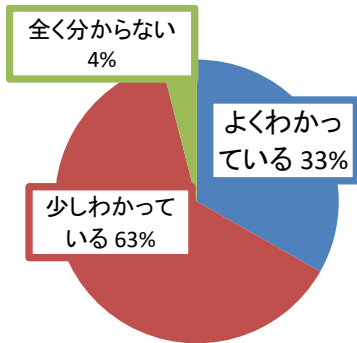


5. あなたの「生物多様性」についての理解度を教えてください。

①シンポジウム参加前

よくわかっている	33%
少しわかっている	63%
全く分からない	4%

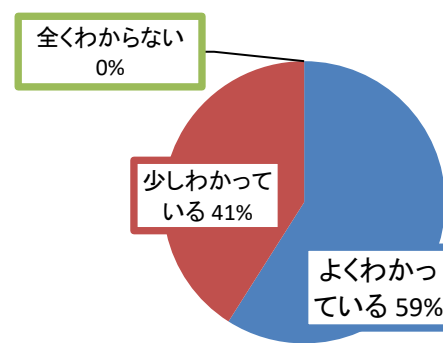
(24人から回答)



②シンポジウム参加後

よくわかっている	59%
少しわかっている	41%
全く分からない	0%

(22人から回答)

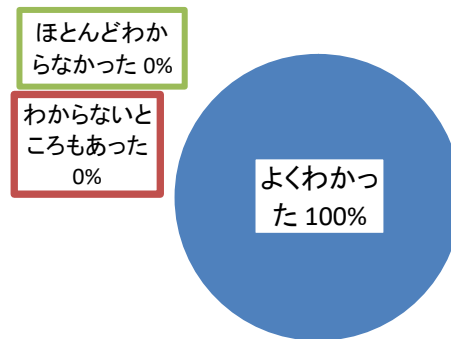


6. a) 本日の「講演」について

①安藤美咲さんの講演

よくわかった	100%
わからないところもあった	0%
ほとんどわからなかった	0%

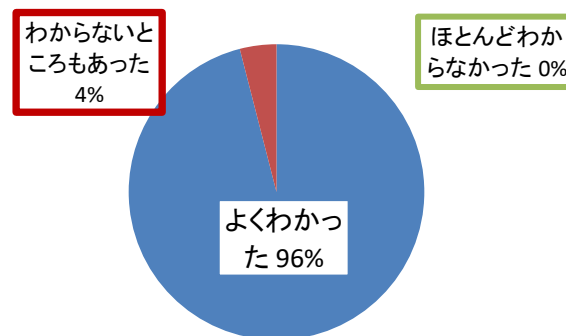
(26人から回答)



②中村源次郎さんの講演について

よくわかった	96%
わからないところもあった	4%
ほとんどわからなかった	0%

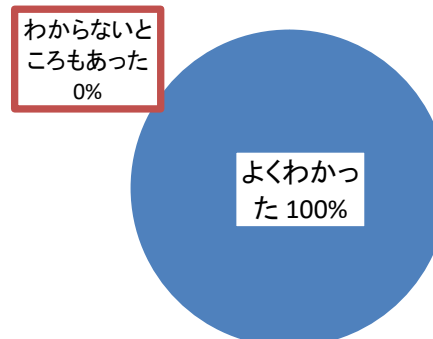
(26人から回答)



③活動発表者によるトークセッション

よくわかった	100%
わからないところもあった	0%
ほとんどわからなかった	0%

(16人から回答)



6. b) 本日の「講演」について（意見・感想）

①安藤美咲さんの講演について

- 若いのに、行動力がすごいと思いました。（41～50歳）
- 楽しそうに活動している様子がよく伝わってきました。
これからも楽しみながら活動を続けてください！（41～50歳）
- ミツバチは農薬の被害を受けることが分かった。
ミツバチとの共生を考え、花づくりをしたいと思う。（61～70歳）
- ミツバチと人との安全性のアピールをしてもらいたい。（71～80歳）
- ミツバチ育む活動をしているのが凄いと思いました。（11～20歳）
- とても分かりやすく、養蜂の大切さが少し理解できました。（41～50歳）
- 若い世代が養蜂で活躍されている事を嬉しく感じました。（51～60歳）
- ハチが可愛いという興味から、ハチやそれによる多様性を考えるところにまでつながったのは尊敬できる。（11～20歳）
- ミツバチが花粉を運び、農業を支えている事を知りました。ミツバチが可愛かった。（11～20歳）
- ミツバチが、他の植物に大きく貢献しており、共生の重要性を理解できました。（11～20歳）
- 受粉を行うミツバチの大切さがよくわかりました。（51～60歳）
- さとはちの活動の中で、ハチミツのみではなく、えごまを育て、そこから油を作っているのを見て、ミツバチへの環境への影響を実感できた。（11～20歳）
- スライドもシンプルで見やすかった。（31～40歳）
- 自身の体験を元に、ミツバチと環境に対する意見を持つことが良いと思った。（11～20歳）

②中村源次郎さんの講演について

- シビックプライドとして、もっと着目と尊重をすべきと思いました。（41～50歳）
- 岐阜でもミツバチが活躍していることが分かった。イチゴや柿を食べる時も、ミツバチにありがとうございますね。（61～70歳）
- 岐阜地元で根ざした講演であったと思います。（61～70歳）
- 国産のはちみつ生産量を表示してもらいたい。（71～80歳）
- すごくわかりやすくお話しされ、理解が深まりました。（51～60歳）
- 岐阜県が近代養蜂の発祥の地との事、認識を新たにしました。（71～80歳）
- 養蜂の事はよく知らなかったもので、岐阜がその始まりだと知らなかったから驚いた。
一度みつばちの家に行ってみたい。（11～20歳）
- ミツバチについて興味がわきました。ハチミツだけではない生物だということを知りました。（11～20歳）
- ミツバチは、興味深いものを生産していて、飼ってみたくなりました。（11～20歳）
- 岐阜が、養蜂の発祥であり、鵜飼と並ぶ文化的価値があるということに気付いてよかったです。（51～60歳）
- ミツバチの巣の作り方、有精卵と無精卵の違いなど、深いところを知れてよかった。（11～20歳）
- 養蜂の歴史にもふれた貴重なお話が聞けた。（31～40歳）
- 専門的な観点から、ミツバチの役割を見ることができた。（11～20歳）

③活動発表者によるトークセッションについて

- 知らないことがたくさんあり、よく分かりました。(41~50歳)
- 家庭菜園でカボチャなどの実の付きが悪い。自然界で送粉者が少ないのでは。農業との関係をもっと取上げて欲しい。(71~80歳)
- ミツバチについて、もっと知りたくなりました！(41~50歳)
- ミツバチを飼うことができる事が分かった。ぜひ飼ってみたいです。(61~70歳)
- ミツバチ、セイヨウミツバチについて、大変よくわかりました。質疑応答でよく理解できた。(61~70歳)
- 知らない事がいっぱいでした。興味深い話が聞けて面白かったです。(51~60歳)
- このセッションで、少し養蜂に興味を持てた。まだ、明らかに知識が不足しているので、勉強してみようと思った。(11~20歳)
- 刺す事よりも糞による被害が大きく、住宅地での飼育が避けられるというのに驚きました。(11~20歳)
- 家庭菜園と養蜂の両方を進めると楽しそうだと思います。(51~60歳)
- ミツバチの行動範囲が2~3kmというのに驚いた。より飼ってみたいになった。(11~20歳)
- 様々な観点から、養蜂を見ることができた。(11~20歳)

7 その他、生物多様性シンポジウム全体について（意見・感想）

- 「ミツバチ」に特化しないで、送粉者全体的に取上げると良い。
生物多様性にもっと具体的に結び付けて欲しい。生物多様性と耕作放棄地との関係。(71~80歳)
- ミツバチだけではなく、少なくとも送粉者全体を考えないと、生物多様性の問題には対応できないのでは。ミツバチは家畜。(71~80歳)
- 1つの生きものから、多様性を考えるシンポジウムの設定の仕方がよかったです。(51~60歳)
- 自分で思っているよりも、ミツバチの環境への影響が大きいことに驚いた。(11~20歳)

(次回以降テーマにして欲しいこと)

- アユの生物多様性を考えてみたい。(61~70歳)
- 鳥類の生物多様性。(11~20歳)
- 昆虫類生態系の基礎的知識。(41~50歳)
- 種類の圧倒的に多いクモと人間との関りなどのテーマ。(71~80歳)
- 遺伝子の汚染。(11~20歳)
- 植物について触れて欲しい。(11~20歳)